

渋谷芸術祭公式プログラム

Shibuya Street Gallery Presents

深呼吸の在処

Sara Masuda | shibutsuku

一般社団法人渋谷駅前エリアマネジメントは、2021年11月6日(土)～14日(日)の9日間、「都市とアートの関係性の模索」をテーマにした「第13回渋谷芸術祭 2021～SHIBUYA ART SCRAMBLE～」の開催に伴い、渋谷エリアの商業施設が連携する街中アートプラットフォーム「渋谷ストリートギャラリー」を舞台に、渋谷の街のデジタルサイネージにアート作品を落とし込む「アートをもっと身近に楽しむプロジェクト」を実施します。



渋谷ストリートギャラリー

渋谷ストリートギャラリーは、本プロジェクトの趣旨に賛同してくださった渋谷区、一般社団法人渋谷未来 デザインの後援を受け、一般財団法人渋谷区観光協会、渋谷エリアの商業施設、メディアサービス会社、工事 関係会社などの各社のサイネージ等情報発信媒体を活用して積極的にクリエイティブ作品を展開する渋谷の街全体をギャラリーとするプロジェクトとなります。

また、渋谷芸術祭など渋谷エリアで行われるイベントとも連携を図り、若手クリエイターの作品発表の目的地のひとつになることを目指します。渋谷ストリートギャラリー実行委員会は、若手クリエイターを応援する本活動を通して街の付加価値を向上するプラットフォームを立ち上げることで、渋谷のエリア連携をより強固にし街の魅力向上に努めてまいりたいと考えております。なお、本プロジェクトは趣旨に賛同してくださった約 30 社の皆さまのお力添えにより成り立っております。

企画概要

「多様性の解釈」をテーマに、世界でも有数のカルチャーを生みだしてきた渋谷の今を切り取り発信するポータルメディア「しぶつく」のディレクションにより、今もっとも注目すべき写真家・映像作家である増田彩来をアートディレクターに迎え、渋谷の今を Z 世代の若者の視点で切り取り、私たちはどのように多様性に向き合うべきかをアートを通して改めて考えるアートプログラムを開催します。

開催場所

施設サイネージ（渋谷スクランブルスクエア屋外壁面サイネージ、フクラスビジョン、SHIBUHACHI BOX、渋谷駅東口地下広場、ミヤシタパーク他）





増田 彩来 | Sara Masuda



@sara_photo_912

2001年9月12日生まれ。東京都在住。2021年10月時点でInstagramのフォロワー12万人突破。企業広告、アーティスト写真、CDジャケットなどのスチール撮影担当や写真教室で講師を務める。2020年に表参道ヒルズ同潤館にて初の個展「エクランに沈む」を開催。また、映像作家としての活動を始め、第2回 Fellows Film Festival 審査員特別賞受賞。現在は、自主制作映画「ブルーバースの詩」やアーティストのミュージックビデオの監督・カメラマンを務めるなど、活動の幅を広げている。



しぶつく | shibutsuku



@shibu_tsuku

しぶつくとは世界でも有数のカルチャーを生み出してきた渋谷の今を切り取り、発信するためのポータルメディアです。広域渋谷圏における様々な取り組みをピックアップし、ここから発信された情報が人と人のつながりを生み、SNSを触媒として横断的に盛り上げる仕掛けを作っています。

本企画に関するお問合せ

info@shibuyaplusfun.com

お客様の個人情報は、お問合せへの回答・連絡のみに利用致します。

